

『一人の笑顔のために』

見えない努力

5月23日（日）晴天のもと、第8回三加和小中学校合同運動会を開催することができました。今年の運動会では、3年生が考えたダンスを小中全児童生徒で踊るという表現活動に取り組みました。これまで、小学校のダンスは担任の先生が指導されていましたが、今回は中学3年生が小学校1年生から中学2年生まで、全ての学年に指導しました。小学校の先生からは、「担任が一番喜んでいました。（指導をする必要が無いので）」という話も伺うことができました。3年生のダンスリーダーの皆さんは、小学生や中学1・2年生に指導するために、かなりはやい段階からかなりの準備を進めてきたはずなのです。

運動会終了後、生徒には、次のような話をしました。

「今回、3年生が中心となって、ダンスや応援の指導をしてくださいました。練習時間や昼休み・放課後等に指導をしてくださいましたが、そのような見えるところだけではなく、3年生は見えないところでかなりの努力をしてきたはずですよ。そのおかげでこのような素晴らしい運動会が実現できました。ありがとう。1・2年生も、この3年生の努力を引き継いでいってほしい。」

努力は本来、見えないところでのものです。

見えないため、褒められることも評価されることもありません。

褒められることも評価されることもなくても頑張れるのは、本物の気持ちがある証拠です。本物の熱意がある証拠です。

そこには嘘偽りのない正直な姿があります。

人目がないと、ひたすら自分との戦いになります。

それが、本当の努力なのです。



～保護者の皆様へ～

運動会の準備や後片付けを含め、運動会開催に向けてのご支援大変ありがとうございました。保護者の皆様のご協力のおかげで無事終了することができたと感謝しております。特に後片付けでは、机・イスの汚れた足を拭き上げていただくなど、細かなところまで気を配っていただいたことに職員も感激しておりました。本当にありがとうございました